

史料編纂所所蔵「落合左平次道次背旗」 の一般公開について



株式会社図書館流通センターからお寄せいただいた寄付金の一部を財源として全面的な修理を実施しておりました本所所蔵「落合左平次道次背旗」ですが、先般修理を終え、このほど国立歴史民俗博物館において公開の運びとなりました。

この「背旗」はもともと掛幅装とされていましたが、傷みと劣化が見られたため、修理を実施しました。あわせて解体時でなければ不可能な調査を行ない、多くの新しい知見を得ることができました。解体時裏打紙を除去したところ、旗の裏面にも表面と同様の人物像が描かれていることが判明しました。そこで修理後は表裏両面を鑑賞できるように額装の形に改装いたしました。

下記東大基金サイトに修理の詳しい報告がありますのでご覧ください。

<http://utf.u-tokyo.ac.jp/2015/11/post-e50c.html>

今回の展示は、修理後最初の公開となり、従来見るができなかった裏面も鑑賞できるはじめての機会となります。

展示では、修理時に行なった科学的調査の成果などについてもパネルにて紹介する予定です。国立歴史民俗博物館が所蔵する斬新なデザインの「変わり兜」と一緒にご覧下さい。

国立歴史民俗博物館第3展示室特集展示 『もの』からみる近世「戦国の兜と旗」

開催期間：2016年8月9日（火）～9月19日（日・祝）

※ただし「背旗」原本展示は8月9日から21日まで

会場：国立歴史民俗博物館 第3展示室副室

主催：国立歴史民俗博物館・東京大学史料編纂所

詳しくは国立歴史民俗博物館ホームページをご参照ください。

<http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html>

※9日11時から開催される展示解説会に、本所高島晶彦（史料保存技術室）・金子拓が参加します。